

# 平和維持活動訓練センターの 能力強化



## ファクトシート

日本補正予算：2021年3月～2022年3月

予算：30万米ドル

主なパートナー：国連開発計画（UNDP）、国連西アフリカ・サヘル事務所（UNOWAS）、国際協力機構（JICA）、民間セクター、市民社会組織（CSO）

### 目的

このプロジェクトの全体的な目的は、トーゴの平和維持活動従事者の任務遂行におけるスキルと能力を向上させ、内部での教訓、外部の研究、およびアカデミアとの協働に基づいて西アフリカ地域に関する知識生産と研究資料を向上させることです。

### プロジェクトの成果

**成果1：**センターの組織的、多次元的な平和維持能力を強化すること

**成果2：**トレーナーと平和維持活動従事者が、人権、ジェンダー平等、民間人の保護および精神的ケアを統合する能力を強化すること

**成果3：**平和維持活動訓練センターの搬送能力向上のため、運搬機器（車両および救急車）を調達すること

### SDGsへの貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標16に貢献します。



From  
the People of Japan

### 開発課題

隣国ブルキナファソにおける攻撃、ベナン北部の公園における旅行者の誘拐、トーゴとガーナにおけるテロリスト集団の解体といった複数の兆候により、暴力的過激主義がトーゴなどの沿岸諸国に広まるのを防ぐための速やかな措置が求められています。安全な環境がなければ開発もないことを理解しているトーゴ政府は、軍と保安要員をマリンに派遣しました。これは、安全上の脅威の軽減、または封じ込めによって、トーゴとの国境および地域のその他の場所に脅威が及ばないようにするという戦略に基づくものです。